

2017年1月4日

「戸田建設グループ企業理念」を改定

－持続的成長の実現を目指して、グループ全体で目的意識を共有－

戸田建設（株）（社長：今井雅則）は、持続的成長の実現及び企業理念に基づく経営体制の強化を目的に「企業理念」を改定し、1月4日、本社にて開催された年初行事で発表しました。

当社では、1967年に経営方針を制定し、これに基づいた企業活動を行うことで、お客様をはじめとするステークホルダーとの信頼関係の構築に努めてまいりました。一方で、社会情勢や社会的要請、当社グループの事業構成等については、約50年前の制定当時と大きく状況が変化しています。こうした背景から、当社の歴史の中で培われてきた価値観や精神を再確認するとともに、未来に向けた指針を改めて明文化していくことが必要となりました。

今回の改定においては、従来 of 条文をベースに、CSR（企業の社会的責任）やCSV（共通価値の創造）等の観点を踏まえ、平易で簡潔な表現としました。また、経営方針の適用範囲について、当社単体から当社グループ全体へと拡大しました。あわせて、行動理念である「企業行動憲章」の改定とともに、2015年制定の「グローバルビジョン」を含めた理念体系の整備を行いました。

経営環境の変化が予想される中、当社グループ全体で目的意識を共有し諸課題に取り組んでいくことを持続的成長の実現に向けた強い原動力としていきます。今後とも企業理念に基づく活動を推進し、当社グループの存在価値を高め、社会の発展に貢献してまいります。

（理念体系）



※ 経営方針及び企業行動憲章を総称して「企業理念」としてしています。

※ 各規範の条文につきましては「別紙」をご覧ください。

《経営方針》

戸田建設グループ 経営方針

1. 企業活動を通じて社会の発展に貢献する
2. 社会の信用を基として社業の持続的成長を実現する
3. 堅実かつ進取の経営でステークホルダー価値の向上を図る

《行動理念》

戸田建設グループ 企業行動憲章

私たち戸田建設グループは「社長現場訓」の精神を基盤とした企業行動を実践し、ビジョンの実現を目指します。

社 長 現 場 訓

- 一、今日一日無駄をはぶき親切を旨としよい仕事を致しましょう
 - 一、今日一日期限には絶対遅れない様心掛けましょう
 - 一、今日一日誓って事故を起さ無い様注意致しましょう
- 以上遂行の為常に研鑽怠らず吾人の技術を最高度に導く様努力致しましょう

1. **安心で良質な建設物およびサービスの提供**
私たちは、多様化する顧客・社会のニーズに応え、品質と安全性に優れた建設物・サービスの提供に努めます。
2. **安全で働きやすい職場環境の実現**
私たちは、戸田建設グループ各社及び協力会社の従業員等、広く関係する人々のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい環境を確保すると共に、多様性と人格・個性を尊重し、資質・能力を最大限発揮できる職場環境を実現します。
3. **社会への貢献**
私たちは、企業の利益と社会の利益を調和させ、「良き企業市民」としての役割を積極的に果たします。
4. **国際社会への貢献**
私たちは、国際的な事業活動において、各国・地域の法律の遵守、人権を含む各種の国際規範の尊重はもとより、文化や慣習に配慮した経営を行い、当該国・地域の経済社会の発展に貢献します。
5. **情報の開示と管理**
私たちは、株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションをはかり、企業情報を正確かつ公正に、適時開示します。また、顧客情報・個人情報をはじめとする各種情報を適切に管理します。
6. **地球環境への配慮**
私たちは、企業活動の全領域で環境との共生に努め、より良い環境の創造と保全に向けた取り組みを積極的に行います。
7. **法令の遵守等**
私たちは、国内外の法及びその精神を遵守すると共に、基本的人権を尊重し、社会的良識のもと、誠実かつ適切に行動します。
8. **公正かつ適正な取引**
私たちは、独占禁止法等を遵守し、公正、透明かつ自由な競争及び適正な取引を行うと共に、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持します。
9. **反社会的勢力との関係遮断**
私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切関係を遮断し、全社一体の毅然とした対応を徹底します。
10. **率先垂範**
経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、管理指導、社内体制の整備を行うと共に、万一本憲章に反するような事態が発生したときは原因究明、情報開示にあたり、自らを含め責任を明確にして、再発防止策を徹底するものとします。